



【教育目標】 自律と協調の精神を養い、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成
～ 知性・品性・感性あふるる豊城中 ～

【めざす生徒像】 自らを客観視し、最適な学びを自己決定し、
実行・振り返りを通して学びを更新し続ける生徒

自ら学び
確かな学力を育成する

●自ら学ぶ意欲を高める

- ▶安心して授業に臨める環境を整えることで、学習意欲を高める
 - 授業改善・人的環境・教室環境の整備
 - 成長を実感できる単元づくり・授業づくり
 - 温かな関係を基盤とした授業づくり
- ▶他者意識をもって表現できるようにする
 - 相手を尊重し、理解しようとする姿勢
 - コミュニケーションタイム（うなづき・相づち・つぶやき）

●確かな学力を育成する

- ▶「わかる、わからない」楽しさ、「仲間と関わる」楽しさ
- ▶「身につけた知識・技能を使える」楽しさを体感できる授業
- 目標設定・豊城4マインドと感情曲線による学びの振り返り
- 目的別コース選択制少人数指導（数学、英語）の充実・発展
学びの過程を大切に授業展開

非認知能力・認知能力を一体的に育てる授業づくり

【めざす生徒の姿と備える力】

◇ 自ら考え行動できる生徒【知】

- (1) 自らよい行いをする力
- (2) 他者意識をもって表現する力

◇ 思いやりのある生徒【徳】

- (1) 自他の価値や存在意義を肯定的に捉える力
- (2) 人間関係が円滑になるコミュニケーション力

◇ ねばり強い生徒【体】

- (1) 感情をコントロールして問題に立ち向かう力
- (2) 多様な他者と力を合わせてよりよいものを
創出し続けようとする力

自己理解・他者理解・自己決定

愛情・信頼

教職員の幸せ⇔生徒の幸せ

自尊心や利他心を育み
しなやかな強い心を醸成する

●「心を耕し、成長の種を蒔く」教育を推進する

- ▶プロセスを認める声かけ、未来を見据えた言葉かけ
- ▶異なる考えや価値観を受け止め、受け入れる土壌をつくる。
- ▶自分のため、人のためにより行動をする心を育成する。

●心が揺さぶられ、感情が動く教育の推進

- ▶非認知能力と認知能力を一体的に育てる学習・行事
- ▶実体験や本物・本気・本質に触れる場づくり

●困り感や問題を抱える生徒（保護者）に寄り添う

- ▶いじめ、不登校、困り感等の理解と未然防止に努め、学校組織
として、すばやく誠実な対応に努める。

危機管理と危機発生時の対応力を育成する

●危機発生時の対応力（判断力・行動力）を育成する

- ▶外部専門機関の指導助言を学校生活にいかす。
- ▶火災や地震、不審者対策を想定内に位置づけ、実効性の高い
訓練を計画・実施する。
 - 中学生・教員の救命救急講習の実施

●安全管理や安全指導を徹底する

- ▶安全点検の徹底・食物アレルギー対応の共有

地域とともにある学校づくりを推進する

●地域とつながり、地域から学び、持続可能な社会の創り手を育てる

- ▶ユネスコスクール ESD（持続可能な開発のための教育）の活動
- ▶地域のふるさとせんせいによる活動
- ▶学校評議員会 『明日の豊城を創る会』 学校評価をもとにした改善
- ▶コミュニティスクールの組織づくり
- ▶健全育成会 地域の見守り・地域の声を生かした生徒指導・豊城賞

専門性が高く、信頼される教職員集団を育成す

●教職員の個性を組み合わせ、揺るぎない石垣組織で教育にあたる

- ▶同僚性をいかし、全教職員で様々な問題解決にあたる
- 主体的に研修（研究と修養）に努め、自分を磨く
 - ▶メタ認知及び非認知能力を熟知して、教科・領域指導に取り入れる
 - ▶指導技術の研究とともに、人間力を高める修養にも尽力する
 - ▶生徒とともに、学び続ける教職員集団となる

小中一貫教育を推進する

●八町小学校と松葉小学校とともに、『15歳の春』を見据えて教育にあたる

- ▶小中学校の教職員が、教育活動の取り組みとその指導・支援等を共有し、9
か年の「学び」や「育ち」のつながりを大切に教育を推進する
- ▶『15歳の春』のめざす姿について、小中学校の教職員がイメージを共有する
- ▶9か年のカリキュラムや学校行事など、教育活動を共有する
- ▶生徒理解・児童理解のため、その支援を共有する
- ▶ブロック合同現職研修の実施